

#001 子どもと一緒に、仲間と一緒に！



「ゴンタの丘」は月1回、一般に開放されています。
9月は26日(日)になります。(10:00~14:00)
参加費は100円。(保険料含む)
親子で是非足を運んでみてください。
問い合わせ先 代表 安原さん (TEL 029-851-4014)

子どもたちが好きに遊べる原っぱが消えてしまった。そんな大人の嘆きを耳にするようになって随分たちます。でもここを訪れたなら、世の大人たちって嘆いているばかりじゃなかったんだ！と誰しも快哉を叫びたくなるはずです。

この遊び場の生みの親ともいえるのが「つくば子育て広場(以下、子育て広場)」。つくば市内で活動している子育て支援グループのネットワークです。このネットワークには親子で外遊びを楽しむグループが多く、自由に遊べる場がないというのが共通の悩みでした。例えば、木にロープを掛けて遊具を作りたい、火を使って煮炊きをしたい。しかしこれらの行為は、自治体の管理下にある公園では禁止されています。

ネットワークから生まれた「ゴンタの丘」 ホンモノの遊び場、つくばで発展途上中

ならば皆で使える遊び場を作ろうと有志が集まり、昨年11月に「つくば冒険広場を作る有志の会(以下、有志の会)」が発足。つくば市桜庁舎に隣接する土地を借り、遊び場作りの活動が始まりました。これらの活動には「子育て広場」に対し、市や県から下りている予算が充てられています。

一方、育ての親は「つくば遊ぼう広場の会」といえるかもしれません。「つくば遊ぼう広場の会」は月1回の「遊ぼう広場」の開催を中心に豊かな遊びの機会を提供している団体です。「子育て広場」のメンバーも数多く参加しており、「有志の会」には今春から正式に団体会員として加わることになりました。

自分の責任で自由に遊ぶ。子どもたちの旺盛な好奇心や冒険心を満たす。そのような遊び場の理想型として、「プレーパーク」があります。北欧で生まれ、日本でも静かな広がりを見せているプレーパークについて、「つくば遊ぼう広場の会」では数年前から見学会やワークショップを開き、つくばでの実現に向け模索してきました。その下地が、この遊び場作りに存分に活かされています。

会のミーティングでは「遊具作りが大人主導になっている。子どもも一緒に考えて作ってほしい」との声が上がりました。これまでは大人たちが懸命に走って作ってきたのでしよう。舞台も道具も調いいよいよこれから子どもたちの出番のようです。冒険広場は子どもたちの思いのままに変幻自在であるもの。遊び場作りは常に発展途上なのです。

広場を歩き回っていると、隅にカモミールとペチニアの花が揺れていました。あんまり唐突だったのと、木の枝で困っている素朴な作りに、思わず笑みがこぼれてしまいました。誰かが思いつきで植えたんだよと会の方も笑っています。有志の会のおおらかで温かな空気に触れた気がしました。